# 修了生の活躍事例

## 就職に強い四国職業能力開発大学校への 進学が将来の幅を広げてくれました!

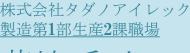
小さい頃からものづくりに携わる仕事に就きたいという 思いがあり、高校の担任の先生の勧めで、四国職業能力開 発大学校への入校を決めました。入校の決め手は、何より 実験や実習時間が多く、将来の仕事と直結した専門知識や 技術を多く学べるところです。

生産機械システム技術科(応用課程)に進学後はグルー プワークや開発課題(卒業研究)などを通して、発案・設 計・加工・組立調整などと言ったものづくりの一連の流れ を学びました。

四国職業能力開発大学校で学んだ経験から自分の強みを 見つけることができ、現在の職場でもその強みを発揮して います。

## 開発課題をやり遂げチームワークの大切さを実感!

私は、学生時代に開発課題として「画像処理を用 いた製品検査装置の開発しに取り組みました。開発 1年目の課題ということもあり、構想設計などゼロ からのスタートでしたが、最終的には検査装置を仕 上げることができました。達成感と共に他科との連 携などチームワークの大切さを実感しました。



## 和人 さん (24歳)

四国職業能力開発大学校 応用課程

生産機械システム技術科

令和3年度 修了



現在、マザック(マシニングセンタ)を担当しています。まだまだ、機械を使 いこなせず悪戦苦闘している毎日です。今後は、技能資格取得へのチャレンジ やより深い知識の習得に励み、幅広い加工技術を身につけたいと考えています。 そして、匠な技術を身につけた暁には、 "プロフェッショナル仕事の流儀"の 出演を夢みています!



開発課題で製作した 製品検査装置

## 就職先企業での活躍

## 芳地 和人さんの業務

製造第1部生産第2課に所属しており、 現在はNC加工機を用いてクレーン部品の機械加工 を行っています。また、NC加工機のプログラム作 成の勉強中です。

NC機械加工をしている芳地さん▶



## 上司からの声 製造1部 橋本 康祐様

四国職業能力開発大学校で機械加工の基礎知識 を学んでいる為、適応力が優れていると感じてい ます。入社3年目で、職場にもフレッシュな風を 吹き込みました。今後は、大学校で学んだ事、職 場で学んだ事を最大限に活かし、更なるスキル UPで機械加工のプロフェッショナルな職人を目 指してください。



### 株式会社タダノアイレック(香川県仲多度郡) 現在四国職業能力開発大学校の修了生が活躍

当社は世界に先進のクレーンを提供する「株式会社タダノ」の製造子会社です。 卓越した技術と品質を追求しつづける姿勢によって、世界的なクレーンメーカーの一翼を担っています。 「吊る」「持ち上げる」といったLE(LiftingEquipment)、つまり抗重力空間作業機械は、かつて人類が 不可能だと思った仕事を可能にしました。それは、大きくて強いだけでなく、人にやさしい機械であるといえるか もしれません。その精神は、クレーンだけに向けられているものではありません。 地球環境はもちろん、地域社会や弊社社員に対してもやさしくあるところに、真の創造性は輝くと考えています。

私たちは、経営理念「創造・奉仕・協力」のもと、社員一丸となって、いっそう高い技術と品質を求めて参ります。



